



核なき世界への願いを文章と写真で伝える「No Nukes」の編集スタッフ、長崎大3年の川崎有希さん（左）と新崎さくらさん。『長崎大

核なき世界 願い一冊に

被爆70年に合わせ、「核なき世界」を希求する被爆者や著名人らのメッセージと写真を収めた「No Nukes（ノーニュ

クス）ヒロシマ ナガサキ フクシマ」が20日、講談社から刊行された。編集スタッフの長崎大生ら4人が同日、長崎市文教町の同大で会見、川崎有希さん（20）と長崎大教育学部3年（20）は「『核』にはいろいろな考えがあるが、命あつてこそその豊かさということを通じて考えてほしい」と話

長崎大生ら編集

「No Nukes」刊行

した。

同社編集者が2013年11月、「地球市民集会ナガサキ」で長崎大生らの分科会を聴講したのをきっかけに、被爆体験の継承を模索する若者と平和を考える本の出版を思い立った。「日本国憲法」（小学館）で知られるフリー編集者の島本脩二さんと長崎大（3人）、広島大（2人）、福島大（2人）の学生が企画から取材、執筆などに関わった。「No」は長崎市出身の歌手美輪明宏さん、

美輪さん 吉永さんら寄稿

女優吉永小百合さん、福島第1原発事故の被災者ら計52人が文章や詩、写真などを寄せた。長崎の被爆者、末永浩さん、中村桂子長崎大核兵器廃絶研究センター准教授、田上富久長崎市長、編集スタッフの川崎さん、新崎さくらさん（長崎大3年）の文章もある。

表紙は、福島県飯館村で採取した軍手に放射性物質が付着している様子。「目に見えない放射能の恐怖」を表したという。

A5判、128頁。1620円。

（高比良由紀）